

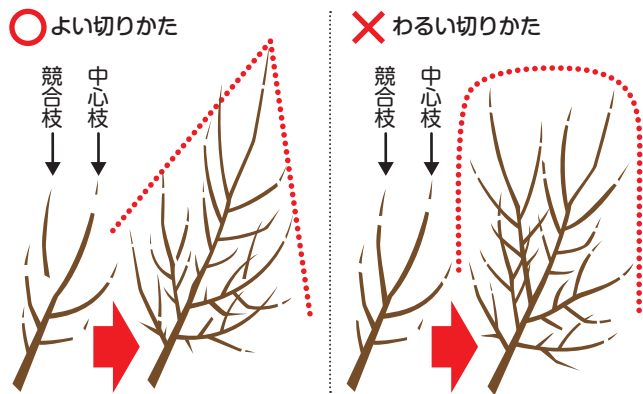


## 果樹剪定(落葉果樹)

果樹剪定(落葉果樹)は通常、落葉した冬期に行います。剪定を行う理由としては、①隔年結果をなくし、安定生産を図る。②栽培管理作業が能率的にできるような樹形を作る。③主枝・亜主枝・側枝・結果枝と均衡のとれた樹冠を構成する。④枝の間合いを作り、通風、採光をよくして、品質の揃った果実を作る。⑤気象災害にも十分耐えうるような骨格の樹を育成する。⑥樹の生長作用を調整し、樹冠の拡大を制限して、土地の効率的利用を図る—などです。

### ③ 骨格枝の先端の剪定のしかた

中心の1本が強くまっすぐに伸びるように、強い競合枝は切り取り、全体として三角形になるようにします。



### ④ その他気をつけること

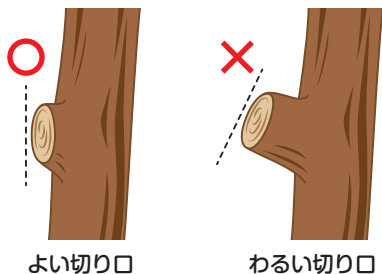
大きな枝を切り落とすと、切り口から病原菌が侵入して枝が枯れこむ危険があります。

太い枝を切る際は、

①切り落とす枝の基部を長く残さない。

②切り口を平滑にする。

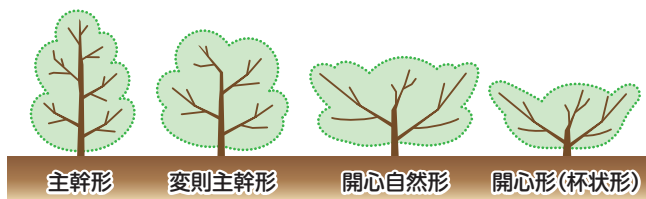
③癒合促進剤を塗布するなどして切り口の癒合を促進しましょう。



### ① 樹形と整枝法

枝が伸びやすいもの、開帳しやすいものなど樹種によって、異なります。本来の性質にあった樹形を目標とします。

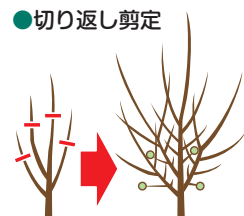
- ① 梅、桃、柿(富有)…開心形、開心自然形
- ② 栗、柿(西条)、リンゴ、サクランボ…主幹形、変則主幹形



### ② 剪定の種類

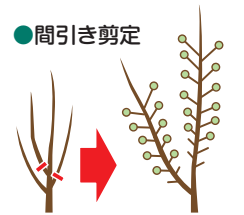
#### ● 切り返し剪定

枝の途中で切るのが切り返し剪定です。先端を強く伸ばして骨格となる枝を育てたり、先端が下垂して弱ってきた枝の勢いを回復させたりする切り方です。



#### ● 間引き剪定

枝の幹部から切るのが間引き剪定です。込み合った部分の枝を間引き、日当たり、作業性などを向上させる剪定です。切り返し剪定に比べて、樹が落ち着き、花芽がつきやすくなります。



※ともに新梢を約50%剪定した場合。(●印は花芽)

## 営農よろず相談のご案内

「営農よろず相談」では、  
● 農作物の栽培方法に関する事 ● 病害虫の防除に関する事  
などを中心にご相談を受け付けております。何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひ一度ご利用ください。

● 電話番号 (097)544-6462

む!よろず

※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。

● 受付時間/月・水・金曜日(祝日は除く) 8:30~17:00  
(受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります)

● 設置場所 営農部



### 栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。